

各位

2025年11月21日
古河機械金属株式会社

統合報告書2025およびサステナビリティブック2025を発行

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、このたび、経営戦略と成果を網羅し、情報開示の透明性と深掘りを強化した「統合報告書2025」および「サステナビリティブック2025」を発行しました。

統合報告書2025

統合報告書は、ステークホルダーの皆さまへ持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティ方針、およびその取り組みを紹介し、当社グループへの理解をより一層深めていただくための、財務情報と非財務情報を集約した報告書です。

本報告書では、10年前に制定した長期ビジョン「2025年ビジョン」を具現化していくための最終フェーズ（2023年度～2025年度）を担う「中期経営計画2025」の2年目の総括と、財務・非財務戦略の実行成果を踏まえた次なる成長に向けた方向性について主に焦点を当てています。

誌面では、トップメッセージ、財務担当取締役、取締役会議長、独立社外取締役等によるメッセージや、当社グループならではの価値創造の具体例を掲載しています。また、事業戦略においては、各事業の市場環境や主な施策等、サステナビリティ関連情報においては、カーボンニュートラルに係る取り組みの進捗等について、説明を充実させています。

今後も当社グループの中長期の事業戦略や財務・非財務戦略、サステナビリティへの考え方・取り組みを分かりやすくお伝えすべく、内容の充実に努めていきます。



【統合報告書2025】

PDFダウンロードはこちら <https://www.furukawakk.co.jp/ir/library/annual.html>

■ 統合報告書2025の主な特長

1. 当社グループの概要・強み・特長

当社グループの事業構成、事業規模、強み・特長を写真や円グラフ、イラストを使って見開き2ページで紹介。

2. 価値創造プロセスとその具体例

価値創造プロセスを、見やすく、分かりやすいデザインに更新。価値創造の具体例として、社会課題を解決するトンネル工事関連製品やミニ・クローラークレーン、ベルトコンベヤをクローズアップして紹介。

3. トップメッセージ、財務担当取締役メッセージ

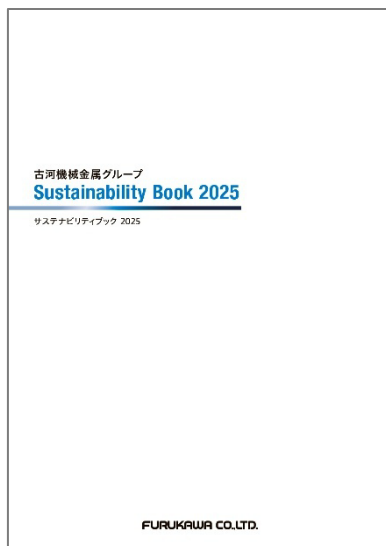
150年の節目を迎え、企業価値向上への取り組みや「中期経営計画2025」の進捗、次なる成長に向けた方向性等について、代表取締役社長、財務担当取締役の考えや思いを掲載。

サステナビリティブック2025

サステナビリティブックは、ステークホルダーの皆さまに当社グループのサステナビリティへの取り組みについて更に理解を深めていただくため、統合報告書よりも詳細な活動報告やESGに関する数値・データを掲載した報告書です。

今回発行したサステナビリティブック2025は、当社グループのマテリアリティ（重要課題）をもとにページを構成し、各項目に対しサステナビリティに関する方針・戦略、ガバナンス・体制、指標・目標、リスク管理、取り組みを体系的に掲載し、当社グループの活動状況を紹介しています。

今後も、当社グループのサステナビリティへの考え方や中長期の成長性を非財務面から明確に開示し、内容の充実に努めていきます。



【サステナビリティブック2025】

PDFダウンロードはこちら https://www.furukawakk.co.jp/sustainability/library/csr_report.html

■ サステナビリティブック2025の主な特長

1. 当社グループのマテリアリティ（重要課題）
当社グループのマテリアリティ（重要課題）と目標、活動実績等を掲載。
2. ページ構成
当社グループのマテリアリティ（重要課題）をもとにページを構成し、各項目に対しサステナビリティに関する方針・戦略、ガバナンス・体制、指標・目標、リスク管理、取り組みを体系的に掲載。
3. 活動報告
2024年度の主なサステナビリティへの取り組みについて、図表や写真を用いて分かりやすく掲載。
4. ESGデータ
ESGに関わる数値・データを集約して掲載。また、昨年度と比べ、スコープ3における排出量の算定対象・範囲も拡大。

主なページ画像

マテリアリティ(重要課題)の特定

当グループは、社会からの期待と当グループの経営活動との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。重要課題の特定は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境情報

当グループは、環境に関する情報を積極的に開示し、社会からの期待に応えることを目指しています。環境に関する情報は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境に関する情報は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。環境に関する情報は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境に関する情報は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。環境に関する情報は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

地域社会との共生

当グループは、地域社会との共生を推進し、社会からの期待に応えることを目指しています。地域社会との共生は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

地域社会との共生は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。地域社会との共生は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

地域社会との共生は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。地域社会との共生は、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境関連データ

当グループは、環境に関するデータを積極的に開示し、社会からの期待に応えることを目指しています。環境に関するデータは、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境に関するデータは、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。環境に関するデータは、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

環境に関するデータは、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。環境に関するデータは、当グループの経営活動と社会との関係に着目し、社会的に重要なマテリアリティの特定に取り組んでいます。

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,908人 〈単独〉205人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp>